



令和 7 年 1 0 月 1 日
日立市市民生活環境部
女性若者支援課

ひたち若者かがやき会議主催「KAGAYAKI KITCHEN (かがやきキッチン)」の開催報告について

時下、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

標記について、下記のとおり開催しましたので、記事掲載について御配慮くださるようお願いいたします。

記

1 目的

- (1) 「ひたち若者かがやきプラン」に基づき、まちのにぎわいづくり、魅力づくり、地域課題解決などを、若者の自由なアイデアで実践できる組織として設立した「ひたち若者かがやき会議」が運営した事業の御報告です。
- (2) 「食でつながる」をテーマに、ひたち若者かがやき会議が核となり、世代や立場を超えて地域の人と人とのつながりを生み出します。
- (3) 全国的に展開をしている「注文を間違える料理店」のコラボ企画として、「ちょっとした“まちがい”もご愛嬌」の心で、高齢者や若者、認知症のある方や障害を持つ方、接客が初めての方等、当日出会った方々が共に1日限定の多様性食堂（低価格でのカレー等販売）を運営しました。
- (4) 今後も、互いを尊重し、多様性を認め合えるような、誰もが安心できる地域づくりにつながる取組を実践します。

2 事業内容

(1) 開催日時

令和 7 年 9 月 21 日 (日) 10:30～12:15／12:45～14:30 ※ 2 部入替え制

(2) 場 所 デイサービス秋桜神峰（日立市神峰町1-1-10）

(3) 参加人数 81人（コアメンバー、ボランティア等の運営スタッフ含む）

(4) その他

地域における多様性交流を目的とした初の試みであり、会場収容人数も限られていたため、参加者の一般募集は行いませんでした。今後、ブラッシュアップした上で、新たな多様性交流の機会を創出する予定です。

3 参加者の声

(1) 来店者

- ・ 様々な形で不自由を抱える高齢者をオーダー担当にお願いし、元気な高齢者や、学生などの若者もボランティアとして参加していることがとても良かった。3世代同居が減少する中、若者が「老いること」を身近に感じる機会となったと思う。
- ・ スタッフの皆さんが生き生きとしていて素敵だった。
- ・ 日立初のイベント（注文を間違える料理店とのコラボ）ということで、興味本位で参加したが楽しかった。
- ・ オーダー担当の方が「注文は何にしたんだっけ？」と何度も確認をしてくれ、食事が届くまで「まだかな？」と気に掛けてくださった。食事も美味しかった。
- ・ 様々な世代が交流する体験ができ、一緒に参加した子どもにとっても貴重な機会となった。元気をもらえるイベントだった。
- ・ とても優しい空間で、このような取り組みがもっと増えることで、より日立市が優しい街になるのではと思った。そして、自分もこの先、安心して日立市での暮らしが続けられるのではないかと感じた。
- ・ 素晴らしい企画で、次回は是非お手伝いしたい。

(2) 運営側スタッフ

- ・ 数か月前から企画・準備を進めてきたが、多くの方の御協力のお陰で実践することができた。皆さんが素敵な笑顔でお帰りになったことがとても嬉しい。
- ・ 最初、どのように臨めば良いかが不安だったが、徐々に自分からコミュニケーションを図ることができるようになり、楽しい1日だった。
- ・ オーダー担当者に事故やけががなく安堵した。
- ・ ひたち若者かがやき会議の活動を知る機会となり、今後自分たちの組織にも生かしたい。
- ・ 家族が久しぶりに社会参加でき嬉しかった。
- ・ 地域の方々とのつながりができ、人と人のご縁を感じる1日だった。
- ・ 空間や慌ただしさ等、良い意味でごちゃごちゃとした空間だったが、みんなが笑顔で、素敵な空間だった。関わることで良かった。
- ・ 初めての経験だったが、次回があるならば、是非仲間として関わりたい。

4 その他 ひたち若者かがやき会議インスタグラム

↳ <https://www.instagram.com/hitachi.wkk/>



以上

【問合せ】日立市市民生活環境部女性若者支援課（担当 鈴木、松田）

TEL 0294 - 26 - 0315 E-mail : wakamono@city.hitachi.lg.jp



配膳風景



接客風景①



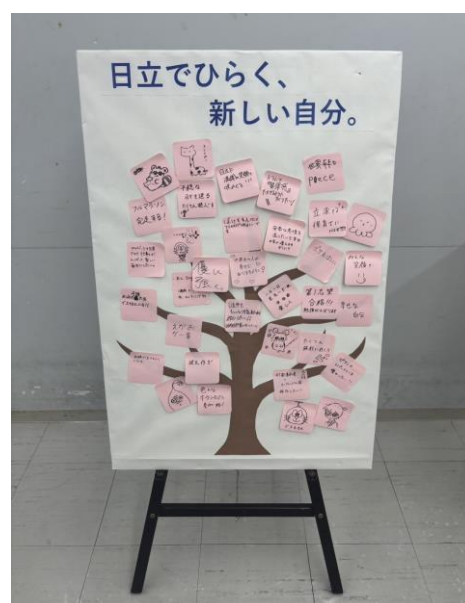
接客風景②



運営側スタッフの皆さん



多くの小さなお客さん



かがやきキッチンに関わった
皆さんからのメッセージ